

NPO法人 スローライフ・ジャパン さんか・さろん

つながる雲仙！

長 崎 県 ・ 雲 仙 市
松 下 隆
令和3年9月21日

先ず最初に！

今年8月の大雨により、
雲仙温泉街は被災しました。



災害発生から、これまで多くの方々から
激励や心温まるお声やご厚情を賜っております。

本当にありがとうございます！！



今回の災害は、深い傷を残しました。

今、「越えてより先へ雲仙」を合言葉に
市民、地域が一つなり復旧・復興に向け
動き出しています！



【拡散希望】「越えて より先へ 雲仙」

今回の災害は、テレビや新聞などで全国に発信され、全国の方々からの励ましを受け、本当に嬉しく、これから見据える原動力になりました。

ありがとうございました！

一方、被災写真が今も使われ、ネットの書き込みなどで未だに「雲仙は危ない！」と広まっています。

雲仙は大丈夫です！

安心してお越しく下さい！

(新型コロナウイルス感染症に気を付けて)



【拡散希望】 「越えて より先へ 雲仙」 いまの雲仙

令和3年9月19日 午前11時(一部9月10日頃)

【問い合わせが多いこと】

- 通行止めはありません。
- 温泉(源泉)は大丈夫！
(ぼこぼこ湧いてます！)
- 宿泊できます！
- 登山できます！
- 雲仙地獄(遊歩道)通れます！
- 温泉たまご買えます！
- 温泉ネコいっぱい！



NPO法人 スローライフ・ジャパン さんか・さろん

つながる雲仙！

はじめに

- ①松下って？
- ②今回のテーマ
- ③注意点

① 松下って誰？

【プロフィール】

○1968年（昭和43年）兼業農家の末っ子長男として生まれ、育つ。

- ・子どもの時の親の教え ⇒ 今も戒めに！ ⇒ 地域（地元）と切れない関係を作る。
父親「ジャガイモで育ててもらった。百姓を一生の肥やしにして生きろ！」
母親「頭を下げろ！挨拶をしろ！金はかからん！」

○1987年（昭和62年）に愛野町役場に一般職で入庁。

※県外就職や転勤のある仕事を認めてもらえず、高校卒業後、何とか公務員に！

- ・初任給97800円 ⇒ 「人口で割ると22円？」に驚き(@_@)

○公務員としての経験

- ・農業土木（事業計画担当）を13年経験し、長崎県へ出向後、総務（主に企画？）の担当へ。
- ・黒子の面白さ ⇒ 市民の皆さんを表舞台で活躍させること！土台・きっかけ作り！
- ・悩んだとき ⇒ 心の中で「じっちゃん」に相談 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒
※「私利私欲を捨て、純粹に仕事と向き合う。」「人を想う！」

○評価???

- ・上司から ⇒ 「謙虚に！行儀良くしなさい！」
- ・同僚から ⇒ 「子供のごたっ（みたい）」
- ・●●ちゃん ⇒ 「熱血。ヤマメの唐揚げに似ている。」

○大事にしていること 『主語は「市民」であること。』

○今の状態 「歯がない。」



【パナソニック㈱提供】

② 本日のテーマ

① 事務局からの依頼

『「さんか・さろん」で何か話して！ゆる〜くでいいよ！』

② 依頼を受ける

平成27年10月に、スローライフとして初めて堅苦しい「地方創生フォーラム」を実施し、その後、中村桂子先生のご来仙など、これまでのご縁に感謝。

テーマは、そのご縁に感謝して「つながる雲仙市」とお伝え！

③ ハードルが上がる 「さんか・さろん」の案内メール

今回は「つながる」という大きなテーマで話されます。

地域コミュニティ、防災、広域連携、多拠点居住、関係人口、ワーケーション。いまや個人と個人、地域と地域、都市と地方が、新しい多様な繋がりを創り、支え合う時代です。

雲仙市はどんなことに取り組んでいるのか、

お話の中から「つながる」ことの普遍的な意味合いを見出したいものです。



④ 引き下がれない環境

・・・「ゆる〜く」は何処に行った？ ♪ ・・・

⑤ 事務局と打ち合わせ

役所の話よりも「松下」として思った事を話せばよい！それを望んでいる！

【結果】松下が想いのまま話す「つながる」です！

※役所の方針と関係ないことが多々あります。ご了承ください。

③ 今回の注意点

1. 今回のお話は

○役所の取り組みなどは、公務員としての紹介

○ただし、随所に「松下」の考えや想いが出現します。

※公務員 < 松下 公務員 : 松下 = 4 : 6

2. 聞き取りにくい

○方言が多い・言葉が荒い・・かも・・・

○相当な早口である！

○歯を5本抜いています！！

NPO法人 スローライフ・ジャパン さんか・さろん

つながる雲仙！

レジュメ・資料

1. 雲仙市って？・・・・・・・・・・・・・・・・ P9～P20
2. 雲仙市とスローライフ・ジャパン・・ P21～P26
3. “つながる”雲仙市・・・・・・・・ P27～P37
～～雲仙市の今の取り組み～～
4. “つながり”について・・・・・・・・ P38～P40
5. Q・A（個人的にお答えします！） ・ P41

1. 雲仙市って？（位置・アクセス）



意外と近い！雲仙市。

東京から雲仙市まで行くとした場合、飛行機（長崎空港からは車）を利用すると、約2時間50分で到着します。

また、雲仙市には多比良港（フェリー）があり、熊本県（長洲港）まで約45分で移動することができます。

休日、のんびり過ごしに雲仙市に来てみませんか？

1. 雲仙市って？（概要）

雲仙市は自然豊かなまちです！

雲仙市は、平成17年10月11日に7町（国見町・瑞穂町・吾妻町・愛野町・千々石町、小浜町、南串山町）合併により誕生しました。

本市は島原半島の北西部に雲仙普賢岳を取り巻くように位置しており、北岸は有明海に、西岸は橘湾に面しています。

地勢は、雲仙山系の険しい山地と、それに連なる丘陵地、及び海岸沿いに広がる平野部からなり、東西17km、南北24km、総面積（令和3年4月1日現在）は、214.31Km²で、県全体（4130.98 Km²）の約5.2%を占めています。また、気候については、温暖多雨の恵まれた条件にあります。

本市の位置する地域は、橘湾や有明海を望む美しい海岸線や、普賢岳、雲仙地獄といった雄大な自然環境を有しており、日本最初の国立公園である雲仙天草国立公園、及び島原半島県立公園に指定されています。



市章

雲仙市の「U」の文字を基調に、豊かな自然の雲仙市を象徴的に表現しており、橙は太陽、青は空と海、緑は大地で自然に恵まれた雲仙市をイメージしています。



市の花:ミヤマキリシマ

ミヤマキリシマは「雲仙ツツジ」とも呼ばれる雲仙市を象徴する花であり、池の原群落は、国の天然記念物として指定されています。また、江戸時代から採取禁止の立て札を立てて大切に保護されており、市民に親しまれています。



市の木:ヤマボウシ

ヤマボウシ（山法師）は、雲仙の広い範囲に分布しており、梅雨のころには、新緑の山に白い十字架型の花を咲かせ、秋には紅葉して赤い実をつけます。雲仙の自然環境を表す木として、市民に親しまれています。

【雲仙市のデータ】

- 地形 総面積214.31km²
- 気象 気温（年間平均）・・・17.5℃
降水量（年間平均）・・・1,952.3mm

※気温・降水量・日照時間は平成23年～令和2年の平均値

- 人口 42,362人（男20,118人、女22,244人）
- 世帯 17,491世帯

※人口・世帯は令和3年8月末現在（住民基本台帳）

1. 雲仙市って？（産業）

県下有数の農業地帯としての産業構造

本市の就業者数は平成22年国勢調査で22,337人と5年前に比べ約8%減少しました。本市では人口減少が続いていますが、就業者数も同様に減少が続いています。

産業別就業者数の割合をみると、第1次産業24.7%、第2次産業19.8%、第3次産業53.1%となっています。これまで同様、第3次産業が全体の半数以上を占めていますが、過去純増を続けていた第3次産業の就業者数が減少に転じました。また、平成22年と比較すると、平成17年からの増加率では第2次産業の減少率が最も高く、製造業等の産業基盤が脆弱な状況がうかがえます。一方で、第1次産業の割合が県平均の3倍と高く、県下有数の農業地帯としての産業構造を有しています。

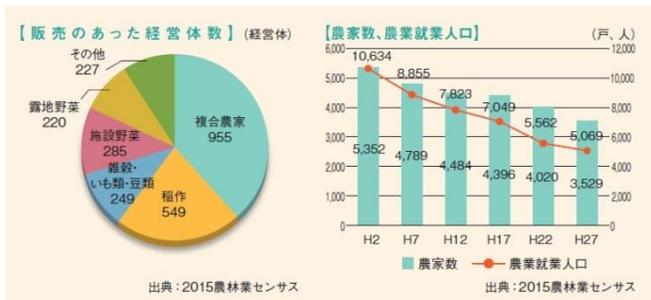


本市の基幹産業である「第1次産業（農業・漁業）」と「観光」の状況

【農業】

平成27年度における農業経営体数(2015の林業センサス)は2,615経営体で長崎県全体の11.9%を占めています。販売のあった経営体の内訳をみると、複合農家が約4割と最も多く、次いで稲作、雑穀・いも類・豆類、施設野菜の順となっています。

本市の基幹産業として更なる振興が求められる農業ですが、農家数・農業就業人口はともに減少傾向にあり高齢化も進行しています。



【漁業】

本市の漁業経営体数は平成25年で192経営体と、平成20年に比べ17%減少しました。漁獲量は水産資源の減少や、赤潮など海域環境変化の影響により変動があるものの、経営体数の減少を受け全体的に減少傾向にあり、平成25年は2,444tと昭和63年以来最低となっています。漁業も農業と同様に就業者の減少と高齢化が深刻な状況にあります。



【観光】

本市の観光客数は平成26年で363万人と、平成16年以降、400万人を下回っています。観光消費額は270億円から300億円前後で推移しており、平成10年に比べ100億円以上下回るなど低迷が続いています。

また、本市は全国有数の泉質と湯量を誇る雲仙温泉、小浜温泉という2つの温泉地を抱えていますが、宿泊客数は減少傾向にあり、平成26年では全体の68%が日帰り客となっています。



1. 雲仙市って？（農業）

令和元年市町村別農業産出額（推計）

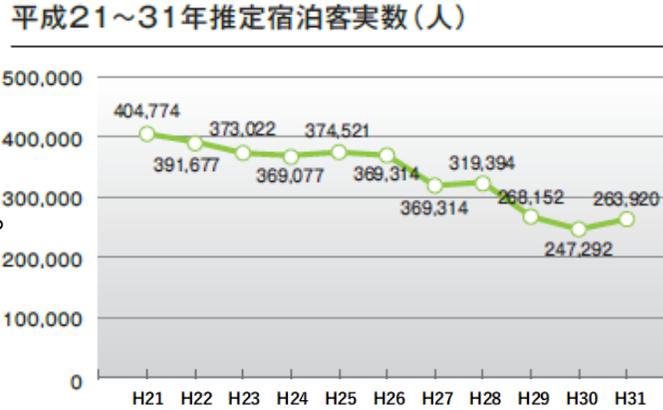
単位：1,000万円

市町村	市町村コード	農業産出額 ①+②+③	耕 種											畜 産								加 工 農産物 ③	市町村 コード		
			小 計 ①	米	麦 類	雑 穀	粟 類	豆 類	いも類	野 菜	果 実	花 き	工 芸 農作物	茶	その他 作物	小 計 ②	肉用牛	乳用牛	生乳	豚	鶏			鶏 卵	ブレイザー
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	
長 崎 市	201	822	564	14	-	0	0	6	118	290	114	3	0	19	257	94	4	x	27	133	63	x	-	0	201
佐 世 保 市	202	1,129	809	138	-	0	1	5	165	250	x	14	8	x	317	206	101	82	x	6	x	x	x	3	202
島 原 市	203	1,775	956	23	0	0	0	12	843	13	x	12	-	x	819	152	110	82	184	368	307	x	5	-	203
諫 早 市	204	1,524	1,177	213	9	1	2	204	347	274	x	10	0	x	347	70	26	24	154	97	12	85	1	0	204
大 村 市	205	475	372	53	0	0	1	3	186	87	33	4	0	5	104	27	9	6	39	29	23	x	0	0	205
平 戸 市	207	433	209	98	0	0	0	16	75	5	x	10	0	x	225	195	4	x	x	18	0	x	x	0	207
松 浦 市	208	433	202	75	0	0	0	2	49	10	37	24	3	5	230	146	5	x	x	15	1	x	x	1	208
対 馬 市	209	60	45	21	0	0	0	3	13	6	0	1	0	1	15	15	-	-	-	0	0	0	-	0	209
老 岐 市	210	656	323	112	3	0	1	3	147	4	28	19	-	8	333	328	-	-	0	3	3	-	2	-	210
五 島 市	211	740	396	39	6	0	1	55	195	4	4	76	3	16	343	261	2	x	77	2	2	-	1	1	211
西 海 市	212	1,072	451	32	0	0	0	24	191	171	18	5	x	9	620	75	8	6	483	54	9	x	-	1	212
雲 仙 市	213	2,792	1,903	142	1	0	1	428	1,201	27	87	10	2	7	888	562	191	158	108	26	3	23	3	1	213
南 島 原 市	214	2,403	1,551	84	0	0	2	282	876	104	x	164	x	x	852	224	150	128	124	347	12	335	7	0	214
長 与 町	307	198	180	4	-	0	0	1	18	142	6	2	-	7	18	1	-	-	-	16	x	x	1	-	307
時 津 町	308	56	56	1	-	-	0	0	9	43	0	0	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	308
東 彼 杵 町	321	187	140	32	0	0	0	2	42	16	2	40	40	6	34	34	-	-	-	-	-	-	0	13	321
川 棚 町	322	97	48	12	0	0	0	0	13	15	6	0	0	2	49	44	-	-	-	5	x	-	-	0	322
波 佐 見 町	323	94	63	38	1	0	1	0	11	4	3	4	3	2	30	21	-	-	-	9	-	x	-	1	323
小 値 賀 町	383	71	27	9	-	-	1	2	14	0	0	1	-	0	44	44	-	-	-	-	-	-	-	-	383
佐 々 町	391	86	42	17	-	-	0	0	20	1	0	3	3	1	43	33	-	-	-	10	0	x	0	1	391
新 上 五 島 町	411	14	6	0	-	-	0	3	2	0	0	-	-	0	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	411
県 計		15,117	9,520	1,157	20	1	11	1,051	4,535	1,466	338	402	62	90	5,576	2,540	610	486	1,196	1,138	435	443	20	22	
雲仙市の割合		18.5%	20.0%	12.3%	5.0%	0.0%	9.1%	40.7%	26.5%	1.8%	25.7%	2.5%	3.2%	7.8%	15.9%	22.1%	31.3%	32.5%	9.0%	2.3%	0.7%	5.2%	15.0%	4.5%	
島原半島の割合		46.1%	46.3%	21.5%	5.0%	0.0%	27.3%	68.7%	64.4%	9.8%	#####	46.3%	#####	#####	45.9%	36.9%	73.9%	75.7%	34.8%	65.1%	74.0%	#####	75.0%	#####	

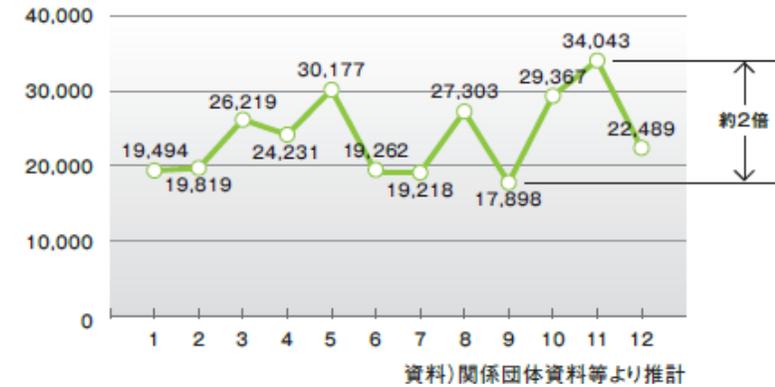
1. 雲仙市って？（観光の現状）

【観光客】

- ・年々減少をしており平成31年には26万人でした。
- ・季節変動が大きく、年間を通じた安定した集客が鍵と言えます。



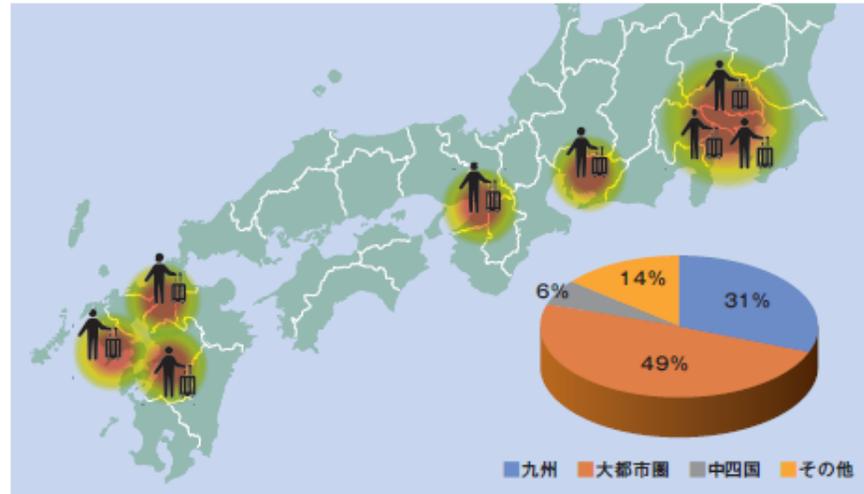
平成31年推定宿泊客実数(人)



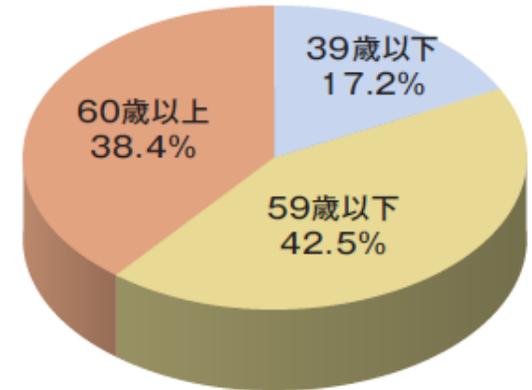
【ターゲット】

- ・宿泊客の半数は、福岡、東京、大阪、長崎、愛知、神奈川など首都圏から来ています。
- ・年齢層では、40歳以上が8割を占めています。39歳以下では、近隣(福岡、長崎、熊本、佐賀)からの割合が高く、一度は気軽に訪れて頂いていると考えますが、何度も訪れて頂けるような新たな取り組みを続けていくことが重要と言えます。

宿泊者の居住地



宿泊者の年齢層



1. 雲仙市の紹介（雲仙市で「楽しむ」：温泉）

泉質の異なる2つの温泉地

雲仙市には、泉質の異なる温泉地として「小浜温泉」と「雲仙温泉」が存在し、効能もそれぞれで異なります。市内には立ち寄り湯が複数箇所あり、地元の人だけでなく、観光で訪れた方にも利用されています。



小浜温泉

小浜温泉
(ナトリウム含有泉)

【効果・効能】
・保湿、保温、しっとり温まる
・お肌のパッキング効果も期待できる

「美容の湯」



雲仙温泉

雲仙温泉
(硫黄泉)

【効果・効能】
・血行促進、老廃物の排出、
血行・循環促進
・お肌の引き締めと癒し

「美白の湯」

~~ 雲仙市には、こんな「変わり湯」もあります ~~



【ほっとふっと105(小浜)】
源泉温度105度にちなんだ、長さ105mの日本一長い足湯。通常の足湯、ウォーキング足湯のほか、ペット足湯や農作物・海産物を蒸すことのできる蒸し釜も併設され、多くの人で賑わっています。



【足湯広場(雲仙)】
雲仙地獄そばの新湯には、足湯広場があります。屋根付きの直径4mほどの浴場で、服を着たまま足だけ入浴が可能。足を浸けるだけで血液の循環がよくなり、足の疲れが和らぎます。



【炭酸泉(小浜)】
ポコポコと音をたてて湧き出している小浜唯一の冷泉。食塩泉とは異なり、硫黄臭を漂わせ、鉄分と炭酸を多く含んでおり、肌がいいとされています。お湯ばかりでなく、冷泉も湧き出る小浜温泉の地下構造の複雑さを垣間見ることができます。



【指湯(雲仙)】
雲仙温泉街の一角には、豊富な湯量を誇る自家源泉を利用し、指のためだけの湯を設けてある宿もあります。他ではみられない、指専用の小さな露天風呂はとってもユニーク。

1. 雲仙市の紹介（雲仙市で「楽しむ」：島原半島）

雲仙地区は国立公園 第1号（昭和9年3月16日）



島原半島は世界ジオパーク 認定国内第1号（平成21年8月22日）



○国立公園とは？

国立公園は、優れた自然景観を、次の世代も私たちと同じ感動を味わい楽しむことができるように、自然を守り、後世に伝えていくところとして、環境省が指定している地域です。

○ジオパークとは？

美しい自然景観や学術的価値を持つ地層を用いて、その土地や地球の成り立ちを知り、それらと私たちとの関わりを楽しく正しく学び、感じる事ができる自然公園で、「世界ジオパークネットワーク」が認定するところです。

【雲仙市】



仁田峠



平成新山



【島原市】



島原城



武家屋敷



【南島原市】



原城跡



南島原市有馬キリシタン遺産記念館

1. 雲仙市の紹介（雲仙市で「楽しむ」：観光①）

国見町エリア



【神代小路(こうじろくうじ)】

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定を受けた神代小路は、江戸期の風情を色濃く残す水路、生垣、石幣、200余年経た趣のある武家屋敷など、江戸時代にタイムスリップしたような美しい町並みを楽しめます。

瑞穂町エリア



【岩戸神社】

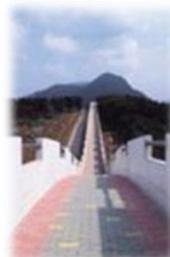
老杉が静かなたたずまいを構える水源の森。境内は樹齢300年を超える檜や杉などの巨木に囲まれています。パワースポットとしても有名です。



【農村公園水車の郷】

瑞穂町に流れる西郷川のほとりに整備された、溪流と親しむ公園です。川の流れを使った水車小屋や親水池などがあり、瑞穂の美しい水を実感することができます。

吾妻町エリア



【牧場の里あづま】

吾妻岳の中腹、標高400mに広がる吾妻岳牧野を利用した休養地。草を食べる放牧された牛、万里の長城を模した全長480mの遊歩道からは、有明海や橘湾など雄大な自然が一望できます。

愛野町エリア



【愛野展望台】

標高約100m、橘湾を望む高台に位置する展望台。眼下には橘湾の断層、晴れた日には東に雲仙連山、北に多良岳、また遠く天草諸島までを望むことができる絶好のビュースポットです。



【島原鉄道愛野駅】

愛野駅は、日本ロマンチスト協会の名誉本部になっており、屋根の上にあるのは日本ロマンチスト協会のロゴマークをあしらったキューピッドの矢。その矢は常に吾妻駅を向いていて、駅を訪れる人たちを見守っています。

《MAP》



1. 雲仙市の紹介（雲仙市で「楽しむ」：観光②）

千々石町エリア



【橘神社・橘公園】

神社は昭和15年全国の奉賛を得て建立、壮麗な社殿、広大な神域、九州一といわれる高さ9.7mの御影石の大鳥居、勾欄造りの軍神橋等は大変有名。大門松が飾られる正月の初詣、800本の桜が咲き誇る4月は参拝客で参道境内を埋め尽くします。



【棚田展望台】

日本棚田百選に選定されている石積みの棚田。雲仙へと続く道の途中にある棚田展望台からは、四季折々の美しい棚田を一望できます。

小浜町エリア



【雲仙地獄】

雲仙を代表する観光名所。キリタン殉教の舞台になったことでも知られ、殉教碑も建てられています。大叫喚地獄やお糸地獄、清七地獄など30あまりの地獄からなり、平成27年のリニューアルにより、地熱体感施設などが新たに加わりました。



【緑のトンネル】

春から夏の緑美しい頃にできる自然のトンネル。道の両側から木々が生い茂り、まるでトンネルのようになっていることからこう呼ばれています。

南串山町エリア



【棚田展望台】

長崎県だんだん畑十選に選ばれた辺木(へぎ)小竹木(こたけぎ)地区の棚畑約800枚を眺めることができる。整然とした棚畑やじゃがいも畑が広がり美しい風景が楽しめます。



【国崎半島自然公園】

県立自然公園に指定されている細長い半島。浜木綿(ハマユウ)などの亜熱帯植物や海浜植物が群生しています。眺望が素晴らしく、雲仙岳・長崎半島・天草などを一望できます。

《MAP》



1. これだけ知っていれば“雲仙マスター”！！【第1弾】

雲仙市の基幹産業は「農業」と「観光業」！！

ポイント① 雲仙市の農産物産出額は長崎県全体の約18.5%！！

【農産物産出額】

長崎県 1,512億円

雲仙市 279億円（出典：長崎県（令和元年市町村別農業産出額））



ポイント② 雲仙市は「ばれいしょ（じゃがいも）」の産地！！

・本市のいも類（ばれいしょ等）の産出額は42億8千円であり、その産出額は、野菜（いちご、レタス、トマト等120億円）の次に多い。（出典：第67次九州農林水産統計年報（令和元年））

・ばれいしょは、春と秋の2期作で生産

《豆知識》

長崎県におけるじゃがいもの総生産量は、北海道に次ぐ「2位」！！

第1位 北海道（構成比 77.5%）

第2位 長崎県（構成比 4.6%）

第3位 鹿児島県（構成比 3.6%）

（出典：農林水産省ホームページ ※データは平成24年産野菜生産出荷統計より）



ポイント③ 雲仙市は温泉地！！

・雲仙市のは泉質の異なる2つの温泉（小浜温泉、雲仙温泉）が存在

《豆知識》

小浜温泉の熱量は、**日本一！！**

※30箇所もの源泉から温度105度の湯が一日に15,000トン沸いている。



1. これだけ知っていれば“雲仙マスター”！！ 【第2弾】

雲仙市ならではの美味しい食材とグルメ！！
雲仙市には、美味しい食材とグルメがたくさんあります！



【ばれいしょ】



【八斗木白葱】



【いちご】



【ブロッコリー】



【たいらガネ（ワタリガニ）】



【いりこ（煮干し）】



【雲仙牛】



【湯せんべい】



【六兵衛（ろくべえ）】



【雲仙レモネード】



【雲仙ハヤシ】



【小浜ちゃんぽん】

～「スローフード」「食」の世界遺産

世界に認められた雲仙市の2品目！ ～



【雲仙こが高菜】
スローフード協会国際本部が認定する「味の箱舟」の中でも、世界的に希少で地域活性化につながるとされ、「プレジディオ」に日本で初めて認定されました。



【エタリの塩辛】
エタリの塩辛愛好会で味や製法などを協議し、承認されたもののみを雲仙ブランドとして認定しています。スローフード協会国際本部から希少な食材として認定されています。

味の箱舟（アルカ）とは？（日本では64品目）
各地方の伝統的かつ固有な在来品種や加工食品、伝統漁法による魚介類などのなかには、このままでは消えてしまうかもしれない、小さな生産者による希少な食材がたくさんあります。「味の箱舟」プロジェクトとは、こうした食材を世界共通のガイドラインで選定し、プロモーション活動などの支援策によって、その生産や消費を守り、地域における食の多様性を守るというものです。1996年に設立され、現在5,000を越える動物、果物、野菜の品種と加工食品などが「味の箱舟＝アルカ」認定され、良質な食材の調達、販売促進に興味のある人への情報提供に繋がっています。

プレジディオとは？（日本では1品目のみ）
プレジディオとは「砦（とりで）」を意味し、スローフード協会が、小規模生産者を地域で直接支援し、生産者が伝統的な市場を開拓するのを助けることにより、伝統的な生産方法を守るものです。
○プレジディオ計画
・生産自身が販売促進を調整できる環境を整え、商品の品質と評価の基準づくりを支援する。
・小規模生産者による食品の生産技術を安定させ、厳格な生産基準を設定する。
・伝統的な食物に発展力のある将来を保証する。

1. これだけ知っていれば“雲仙マスター”！！【第3弾】

雲仙市にいろいろある、「No1」と「Only 1」！！

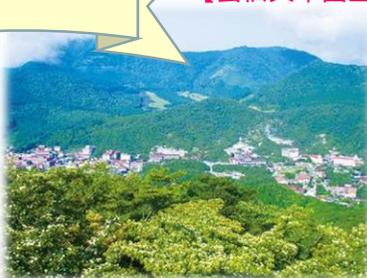
世界ジオパーク
日本加盟
第1号

【島原半島ジオパーク】



国立公園**日本初**

【雲仙天草国立公園】



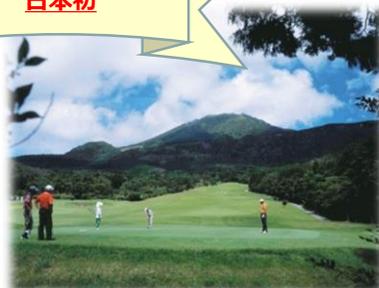
**日本で一番
新しい山**

【平成新山】



パブリックゴルフ場
日本初

【雲仙ゴルフ場】



**日本一長い
足湯 (105m)**

【ほっとふっと105】



熱量
ナンバーワン
(105°C 沸出量
1日 15,000トン)

【小浜温泉熱量】



大門松の高さ
日本初 (14.0m)

【橋神社の門松】



愛とロマンスの駅
日本唯一

【島原鉄道愛野駅
(愛とロマンスの駅)】



2. 雲仙市と（NPO）スローライフ・ジャパン

- ①平成25年10月 雲仙市人口減少問題について取り組み強化を促す
(H26予算編成方針)
- ②平成26年5月 日本創生会議「消滅可能性都市」発表
- ③平成26年9月 群馬県南牧村へ増田会長を口説きに行く
キーワードは「3種類の“煮しめ”」～牛・豚・？～
- ④平成27年4月 地獄の8か月に気付く(当時の職員は「狂っている・・・」と嘆く)
 - ・5月 九州市長会を開催
 - ・7月 石破地方創生大臣(当時)の雲仙視察と講演を実施
 - ・10月 雲仙市発足10周年記念式典
 - ・10～11月 雲仙市「地方創生フォーラム」の開催
- ⑤平成29年7月 中村桂子先生が雲仙へ
- ⑥平成30年4月 野口智子先生による雲仙市襲来が始まる



2. 雲仙市「地方創生フォーラム」①

平成27年10月31日 視察・分科会・夜なべ談義

○市内視察



○分科会

- 第1分科会 テーマ「自然・暮らし」（参加者25名）
- 第2分科会 テーマ「逸品・じげもん」（参加者19名）
- 第3分科会 テーマ「ちびっこ・若者」（参加者21名）
- 第4分科会 テーマ「交流・連携」（参加者17名）



○夜なべ談義

参加者78名



2. 雲仙市「地方創生フォーラム」②

平成27年11月1日 全体会「雲仙の地方創生を語り合う」

【当日の内容】

- ・ 基調講演
増田寛也先生「雲仙の未来像～山と海と若者と～」
- ・ 分科会報告
- ・ パネルディスカッション

参加者：約400人



2. 雲仙市「地方創生フォーラム」③

広報紙 平成27年12月号 特集ページ ～市民総参加「雲仙市地方創生」の幕開け～



表紙

分科会の結果報告

審判委員会による評価結果は分科会報告が行われ、各分科会の委員(審判委員)とアドバイザー(スローフィッシュ)に、それぞれの分科会で話し合った内容について発表していただきました。

第1分科会「自然・暮らし」

議長：田中幸子氏(田中幸子商店)
アドバイザー：柳野達也氏(長門大学教員)

- 「雲仙の地方創生」とは雲仙の特長を活かした自律的で持続的な社会をつくることである。
- 子どもが産まれたばかりの町へ出て行ってしまっても、雲仙が素晴らしいところであることを伝えていけるように、雲仙は、自分の特長を伸ばせることができる。また、戻った分だけ愛情を注ぐことができる。

第2分科会「選品・じげもん」

議長：高橋新一氏(株式会社雲仙産物産物代調製所)
アドバイザー：野口智子氏(ゆかり研究所長)

- 商品をよりするためには、商品と人とのストーリーをつくる必要がある。
- 雲仙の観光が盛況している中で、観光客の観光は減少している。二次産業の振興が重要。
- 住んでいる人たちがいい思いをした時に、それ以外の産業が興うことが必要である。

第3分科会「ちびっこ・若者」

議長：三浦誠司氏(長門小学校教員)
アドバイザー：高橋新一氏(雲仙産物産物代調製所)

- 子育てしやすい環境をつくるためには、子どもを産んで、育てることの難しさでチームを組んで一緒に頑張ることが、両親が親身に参画することが大切。
- 子育て世代が定住するためには、就業機会の確保や安心して子育てできる環境づくりが必要である。

第4分科会「交流・連携」

議長：佐々木利雄氏(一般社団法人高橋興業グループ事務局)
アドバイザー：田中幸子氏(長門大学教員)

- 町の人が交流することで、縁が広がっていく。また、継続的に連携を推進することで定住も広がる。
- 町内でも、雲仙のことはあまり知られていない現状がある。雲仙市をどのようにアピールしていくのか、みんなでしっかり話し、強い誇りを持って発信していくことが必要である。

第2分科会「選品・じげもん」

第1分科会「自然・暮らし」

第4分科会「交流・連携」

第3分科会「ちびっこ・若者」

▲10月31日、4つの分野に分かれた分科会が行われました。出席した委員からは自己紹介を踏まえた活躍の期待や、期待感を感じる発言、今後の雲仙市の発展についてそれぞれの立場から意見を述べられました。

▲11月1日、4分科会報告会において各分科会の報告をもとにしたパネルディスカッションが行われました。

雲仙の地方創生を語り合う

市民総参加「雲仙市地方創生」の幕開け

人口減少を克服し、持続可能な社会を実現するために、地方創生が重要な課題となっています。雲仙市では、市民総参加による地方創生を推進し、地域を元気にすることを目指しています。

11月1日(日)は分科会報告会において各分科会の報告をもとにしたパネルディスカッションが行われました。

▲11月1日に開催された市民総参加「雲仙市地方創生」の幕開けの様子です。

▲11月1日に開催された市民総参加「雲仙市地方創生」の幕開けの様子です。

2. 中村桂子先生が雲仙を訪れる！！①

平成29年7月6日 中村桂子先生による雲仙市訪問

- 中村桂子先生、市長・教育長との面談
- 視察①雲仙市立大塚小学校の実習田
 - ※大塚小学校校長及び教育実習田指導者による説明
- 視察②岩崎政利氏圃場
 - ※岩崎政利氏及び青年農業者等との会談



2. 中村桂子先生が雲仙を訪れる！！②

広報紙 平成29年9月号 特集ページ

農業は 人を育てる！

JT生命誌研究館 中村桂子館長



○はじめに
雲仙市の基幹産業である農業は、少子・高齢化、生産コストの高騰や農作物価格の乱高下による不安定な経営などにより、後継者・労働力確保、生産基盤強化に向けた対策が急務となっており、現在、さまざまな取り組みを進めています。
また、地域コミュニティの拠点としての機能をもつ小学校では、総合的な学習の時間を活用し、農業体験など地域の伝統産業に触れる取り組みや、ふるさとに対する誇りや愛着を深める学習が展開されています。
7月6日、これまで小学校農業科の必修を提唱され、全国初となる福島県喜多方市の農業科の設置に携わられた、JT生命誌研究館(大阪府)の中村桂子館長をお招きし、大塚小学校の教育実習生田と岩崎政利さんの圃場の視察や、関係者との意見交換を行い、本市における農業の魅力を高める取り組みを模索しました。

○農業体験で子どもは変わる
視察の前に、市長、教員、関係者との意見交換を行いました。
中村館長は「農業は、農業者・農家・消費者、それぞれの立場から、農業を育てる」ということ。種を植える、水をやる、収穫する、ということができるのが、未来を予測しながら考える、今の社会は早くも時代が訪れる世界。農業は早くも時代が訪れる。生きものが育つのは時間が必要で、人間も同じ。それなのに、子どもたちに「早く早く」と促してしまふ。農業を育てることで、その間に育つことができる。交差する力や「ミニマリーション」力、表現力が上がる」と話されました。
次に、5年生の総合的な学習の時間を利用して、土づくりから米作りに取り組んでいる、大塚小学校の教育

○おわりに
雲仙市では、恵まれた自然環境を生かしながら、農業や観光などの産業を展開していますが、急速な人口減少などの理由から、地域産業の衰退が危惧されています。
今回、さまざまな経験や元々、生きることの本質を追求されてきた中村館長の助言は、本市の農業と教育において、新たな可能性を見出すきっかけとなりました。
今後も、本市の特性を生かして生かす、魅力ある雲仙市の確立に向けた取り組みを展開してまいります。
(政策企画課 学校教育課 農林水産課)



大塚小学校の取り組みを紹介する岩本さん



大塚小学校教育実習田

「多様性は生きものの宝庫」
最後に、西委員で自然療法(生物多様性農業)に取り組まれている、岩崎政利さんの圃場を訪れました。岩崎さんは、約30年もの間、これまで先人が守り育ててきた種の多様性を保全するために、生産する80種類の野菜のうち、60種類ほどの自家採種に取り組まれています。
岩崎さんは、園芸交換会場のテーブルに並んだ、「自己選りすぐられた、色や形が違ってもさまざまなカボチャを指しながら、「在来種といえども色んな種類がある。このカボチャは、北海道のものであり、これは福島のもの

また、園芸交換の中で中村館長は、「生物の多様性は生きものの基本。しかし、農業を始めたとき人間は効率性を求め、多様性を消し去った。多様性の大切さは皆わかるところ。経済(効率)だけでなく多様性のバランスを考慮する必要がある」と語られました。
園芸交換に参加された人からは、「小学校給食に、自然農法で作った地元の野菜を、食材として使ってみてはどうか」との提案もありました。



園芸交換の様子

短い訪問で感じた大きな可能性 ～中村館長からのメッセージ～

7月初め、雲仙市を訪れ、「農業・教育」について考える機会をいただきました。私は長い生きものの研究をした結果、「人間は生きものであり、自然の一部である」という考え方が、今一番大事だと強く思うようになりました。研究などしなくても誰でもわかるあたりまえのことですが、でも今は経済優先の競争社会になっており、自然や生きものという視点が大事にされない状況になっています。
ところで、「人間は生きもの、自然の一部」という考え方をすると重要なものとして農業が浮び上がります。安全で美味しいものを楽しく食べることが生活の基本だからです。そしてその大切さを小さい頃からわかっていることが大事です。実はそれを実践しているところがあります。福島県喜多方市です。そこで私が体験したのは、地域のお年寄り子どもたちといていかに野菜の作り方を教え、子どもたちも笑顔で、野菜に声をかけるようになり、家に持ち帰って皆で笑顔で食べるという姿です。
農業は作物だけでなく人を育てると実感しています。雲仙市では大塚小学校と岩崎圃場を訪れ、農業・教育共に素晴らしいものがあることを知りました。お会いする方お一人お一人、人間としての魅力に輝いていることに心が洗われました。何っていないところにもたくさんの方がいるに違いないと。



意見交換会に出陣された岩本さん

3. “つながる”雲仙市（関係人口の取り組み①）

令和元年度から関係人口（※）を創出することを目的とした事業に取り組んでいます。

※移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉。

【本市におけるターゲット】

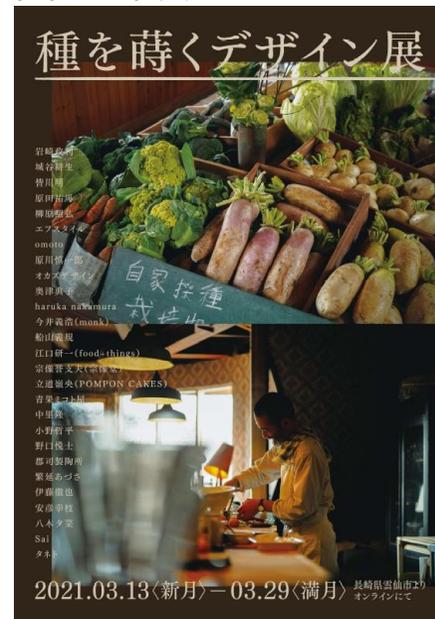
①デザイナーなどの「クリエイティブ」な仕事に関心を持つ人

②「種採り農業」に関心を持つ人

→この2つをターゲットにした理由や経緯は次ページに記載

令和元年度

令和2年度



3. “つながる”雲仙市（関係人口の取り組み②）

①デザイナーなどの「クリエイティブ」な仕事に関心を持つ人

- ・国内外で活躍された本市出身のデザイナー、故・城谷耕生氏の思いやその取り組みに惹かれ、ここ数年間で県外からデザイナー等が本市へ移住し、活躍されている。
- ・また、現在もデザイン関連の仕事をしている人が本市に興味を持ち、視察に訪れるなど、本市における「クリエイティブ」な仕事に注目が集まっている。



城谷耕生氏



「刈水庵」（小浜町）

←城谷氏が手掛けられた古民家を活用したショップ兼カフェ。城谷氏は、過疎化が進む「刈水地区」を調査・研究するなど、デザインを活用した地域デザインにも取り組まれていた。

②「種採り農業」に関心を持つ人

- ・本市において、有機農業と種の自家採取（種採り農業）を30年程実施されている岩崎政利氏は、「固定種」や「在来種」といった市場であまりみることができない野菜の種を守り続けている。
- ・数年前に、岩崎氏の取り組みに共感した都市部の住民が本市へ移住し、種採り農業によって生産された野菜の販売や料理を提供する店舗をオープンされ、種採り農業に関する情報を広く発信するなど、本市における「種採り農業」への関心度は高くなっている。

「固定種？」、「在来種？」
説明は次のページ！



岩崎政利氏

3. “つながる”雲仙市（関係人口の取り組み③）

F1種…一般的に市場でみかけられる野菜の品種。人為的につくられた一代限りのもの。

固定種…何代にもわたって種を採り、育てていくといった自然な育種をしていくうちに、自然とその野菜の個性が定着し、固定化したもの。

在来種…固定種の一つで、自然な育種をしていくうちに、その風土に合わせて適応していったもの。



オーガニック直売所「タネト」（千々石町）の売り場の風景



雲仙こぶ高菜



平家大根



長崎赤かぶ



黒田五寸人参

3. “つながる”雲仙市（観光の取り組み①）

令和2年6月に「雲仙市観光戦略～雲仙温泉編～」を策定し、「6日間滞在できる雲仙」を目指して「3つの意識」のもと、「12のプロジェクト」に取り組んでいます。



課題解決のために目指す「3つの意識」

1. 個の総力戦。

個々の商売に励むことが地域の力になる。ひとりひとりが雲仙の一部。一人が作る思い出が、雲仙市全体の評価につながる。お客様のひとつの思い出が、雲仙全体の印象となる。「個の総力戦」。「ツイートする」「話す」「ブログに書く」など、できることはいっぱいある。

2. 途中も見せる。

完成するまでの時間をもったいないので、プレスリリース発信や、自主発信でプロセスを見せる広報。地域の人、外の人にも物語、プロセスを共有する。

3. 仲間を集める。

広報メンバーや、相談できる人、一緒に協働してくれる人、そのものを雲仙の外にももつ。ファンの立場での広報や協力。お手伝いすること自体がアクティビティになる工夫を。

そして…自分たちも楽しもう！

3. “つながる”雲仙市（観光の取り組み②）

雲仙再生のための12のプロジェクト

- ①継続的なブランディング
- ②自然アクティビティ充実と、雲仙地獄、白雲の池、ゴルフ場、仁田峠等の活性化、及びそのための環境整備
- ③まち歩きの魅力アップ
- ④新たな人の流れと価値を生み出す仕組みづくり
- ⑤回遊性の向上と交通マネジメントの実施
- ⑥持続可能な推進体制の構築
- ⑦小浜温泉及び島原半島との連携強化
- ⑧安心安全でユニバーサルな受入環境整備
- ⑨持続可能なフィールド（自然・街並み）の再生
- ⑩クオリティオブライフ「住みよく働きやすい街づくりを通じた、毎日が充実し心身が満たされた生活」の向上
- ⑪お客様目線に立った情報発信
- ⑫戦略的マーケティング・プロモーションの実施



3. ワークーション

廃校舎を活用したワークーションの取り組み

地域

プレーヤー・ノウハウ不足

都市部

コロナ禍「地方で働く」

R3.10.24

交流拠点「雲仙ベース」オープン (予定)

①ワークーションを活用した交流コミュニティの拠点へ

⇒学校ならではの空間を生かしたコワーキングスペース、ミーティングルームを整備
(「交流コンシェルジュ」が常駐予定。)

②ワークーションで訪れた都会の個人、企業や地域がチャレンジできる拠点へ

⇒体験づくり教室、トレッキングや自然体験を通じたアクティブラーニングを開発
※専属トレーナーによるフィジカルフィットネススクールの常設を検討中

③オープンイノベーションの拠点へ

⇒都会と地方をつなぐ仕掛けづくりの場を目指す。交流コミュニティからプロジェクトへ、そしてビジネスにつなげるモデルケースの開発。



3. “つながる”雲仙市（「雲仙人」の取り組み①）

平成30年度から「地域力創造アドバイザー」として本市へ訪れていた野口智子先生により「雲仙人（くもせんじん）プロジェクト」の提案を受け、現在も活動しています。

→地域を盛り上げようと「ものづくり」や「ことおこし」に頑張る人を「雲仙人（くもせんじん）」と呼び、応援し、その方々が繋がる仕組みを育てる取り組みを行っています。



「雲仙人サロン」の様子



令和2年度から「雲仙人サロン」のオンライン配信を開始



雲仙人を紹介する冊子「あいにかんば雲仙人」



「雲仙人BOX」発表会の様子

3. “つながる”雲仙市（「雲仙人」の取り組み②）

【雲仙人（くもせんじん）サロンの開催】

市内で「ものづくり」や「ことおこし」に取り組まれている人がスピーカーとなり、自身の活動を話していただき、市内・市外の参加者とのつながりをつくるサロンを開催しています。

回数	開催日	テーマ	回数	開催日	テーマ
第1回	H31.1.23	長崎雲仙育ちオリーブリーフで農業を変える	第12回	R1.10.10	“祭り”の作り方
第2回	H31.2.22	雲仙温泉SANKAKU FES.に学ぶ人とお金の集め方	第13回	R1.11.22	わいわいサロン（ワークショップ）
第3回	H31.4.28	「小浜デザインマーケット」を散策！	第14回	R1.12.12	モノづくりの現場「本多木蠟工業所」を訪問しよう！
第4回	R1.5.23	マルニの“ゆで野菜”と集い処“えんがわ”	第15回	R2.2.27	かんぼこ物語
第5回	R1.6.12	“湯せんぺい”の新たな挑戦	第16回	R2.3.10	旅館で催しをやってみて
第6回	R1.7.28	「ミニフェス イン 千々石」を楽しもう！	第17回	R2.7.16	YouTubeをやってみよう
第7回	R1.8.8	ジャガイモ農家の“フェス”づくり	第18回	R2.8.26	伝統野菜を知ろう。食べよう。
第8回	R1.8.10	「UNZEN SANKAKU FES」を楽しもう！	第19回	R2.9.24	雲仙ナチュラルドレッシング誕生物語
第9回	R1.9.6	種取り農家・竹田かたつむり農園奮闘記	第20回	R2.10.28	橘湾の煮干しを広めたい
第10回	R1.9.7	「島原大半島祭」を楽しもう！	第21回	R2.11.26	藍を食卓に
第11回	R1.9.20	わいわいサロン（ワークショップ）	第22回	R3.7.16	お〜い、皆さん元気だった会

3. “つながる”雲仙市（「雲仙人」） 「番外編」①

雲仙市農林課所属の地域おこし協力隊が本市の“農”の風景・暮らしを紹介する手書きのフリーペーパー「雲仙山間号（うんぜんやまあいごう）」を作成する活動を行っている。

→野口智子先生によるアドバイスにより、本年3月に雲仙人の一人である飲食店経営者の店舗にて、第1回「雲仙山間号」の展示会を開催。現在、別の雲仙人の方（雑貨屋経営）の店舗にて第2回目の展示会を開催している。



地域おこし協力隊の堀口さん



雲仙市の方言を堀口さんによるほっこりしたイラストとともに紹介

第2回 うんぜんやまあい Go
雲仙山間号展示会 雲仙市地域おこし協力隊 堀口が見た雲仙

2021年9月1日(水)～30日(木)(火曜、祝日休み) 10～17時

会場：アイカネ商店2F(雲仙市小浜町北本町1003) 2.3台入る駐車場があります。

TEL：0957-60-4234

アイカネ商店 小浜の町にひっそり佇む 藍や植物の染め物店

MAP 小浜支所 小浜公会堂 251 207 ここ!

展示へのお問合せ ☎:0957-38-3111 農林課 堀口 泊香

3. “つながる”雲仙市（「雲仙人」）「番外編」②

雲仙山間号（うんぜんやまあいごう）

方言のイラスト（第1回展示会）

国道57号
線を千々石から小浜へ走り、「山領口」の看板の信号を左に曲がって進むとあります。雲仙が山岳仏教の修行場として栄えた時代には重要な登山口でした。今でも集落を歩くと色んな史跡が残っています。

雲仙山間号

UNZEN YAMA A I GO

景色を見る
小浜町山領の水田

小浜では珍しく田んぼばかり
案内してくださった岩永さん

雲仙やまあい号とはすてきな景色、人々がいる雲仙市の山間部のあ水こ水

をゆるく紹介するフリーペーパーです。いつかあの地域に寄ってみようかと思ってもらえる1枚を目指して作ります。

若宮神社の牛ごもり
山領にある神社は、毎月初めの丑の日にその月の当番の班が神社に集まり、喋ったり食べ飲みをする「牛ごもり」がある。

今年も夏の、猛暑がきびしいですね
山領の取材では、ひまわりが何枚かの田んぼに植わってきれいでした。歴史深い土地で、まだまだ沢山の話がある所です。

神社にある牛の像

五左衛門さん
江戸時代、水田の水の便を良くする為に千々石村と川の水を分け合う話をつけた偉人。今もその碑は地元で大切にされている。

中田さん
案内してくださった中田さん

案内してくださった中田さん

島原半島は、ユネスコ世界ジオパーク！

制作：雲仙市農林課
地域おこし協力隊
堀口 (horiguchi)
0957-38-3111
h-horiguchi@city.unzen.lg.jp



3. 雲仙人サロンのお知らせ！！

9月21日（木）15：30～17：00に
「第23回雲仙人サロン」を開催します！

雲仙市の特産物である「ジャガイモ」について、
地元の農家さんにお話いただきます。

知っているようで知らないジャガイモの基本的な
お話や農家さんならではのジャガイモ料理につい
て聞いてみませんか？

オンライン(zoom)での参加も可能です。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしております！

※詳細は、別添のチラシをご確認ください。



サロンでスピーカーを務めて
いただく、ミヤタファーム
（小浜町）の宮田和晃さん・
佐久美さんご夫妻とお子さん
達。

ジャガイモのほか、玉ねぎや
ブロッコリー、ハバネロやバ
タフライピーなども作ってい
らっしゃいます！



第23回

雲

Zoomの使い方について覚えたい方は、
この機会にチャレンジしてみませんか？
事務局でお手伝いします！



2021.9.23

雲仙人サロン in 小浜町 & オンライン！

日時：9月23日（木・秋分の日）15:00 集合

会場：アイアカネ商店（雲仙市小浜町）

雲仙市で「ものづくり」「ことおこし」に取り組む“人”を紹介する雲仙人サロン。
本年度第2回目は、ミヤタファームの“宮田和晃さん・佐久美さん”ご夫婦。雲
仙市特産のジャガイモについてを語っていただきます。知っているようで知らな
いジャガイモの基本的な話や、農家さんならではのジャガイモ料理、参加者のみ
なさんのジャガイモへの思い等、アレコレお話ししましょう！現地でもオンライ
ンでも、ぜひ自慢のジャガイモ料理をお持ち寄りください！

4. 雲仙市の“つながり”の理念？

【雲仙市】

○将来像『“つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち』の実現

※“つながり”をキーワードにした3つのつながり

①自然との“つながり”

・恵まれた自然環境を財産として、活力を生み出す！

※関係人口の創出、ワーケーション、他拠点居住など、雲仙市の魅力を感じ関わりある人も全て財産

②人との“つながり”

・人と人の絆を育み、生かすまちづくりを進める！

※自治会（自主防災組織、福祉の支え愛）などの活動や、キーワードを共にするグループ等の活躍

③市民や地域、近隣との“つながり”

・個々の力を最大限に発揮できる環境づくりと、力をつなぎ合わせ相乗効果を発揮させる！

※自治体の広域連携（生活、産業などの連携）や企業等（郵便局、保険会社など）との連携による効果

○市民の心と心をつなぐ「まちづくりの合言葉」



市民の「ほっと」・・・安心の暮らしで“ほっと”

来訪者の「ほっと」・・・温泉や人の温かさにふれて“ほっと”

まちづくり活動の「ほっと」・・・市民主体のまちづくりが熱く展開（HOT）

4. “つながり”個人的な考え①

【今の状態】

○少し静かにしている。

○客観的に見て「自分を壊す」・・・自分の棚卸し※動き過ぎて見えなかったモノを明らかにしたい。

【見えてきたヒト・モノ（・カネ）・コト・トキ】

○「ヒト」・・・動いているヒト、動きたいけど動けないヒト。

新型コロナウイルス感染症で疲弊し、生活が苦しいヒト。

情報がありすぎて、熱い想いが冷えてきたヒト。

※都市部のヒト（正規社員）はアクティブに動きたい。

○「モノ」・・・熱い想いが込められた温泉や海、農業、食材、加工品などのモノ。

新たな可能性を秘めたモノ。

※思いが強く物語の素材集めができない。「本質」を把握。

○「コト」・・・市民が主体となって動くコト。

役所が土台づくりに関わるコト。

役所と一緒に動いて動くコト。

※役所の立ち位置

○「トキ」・・・思いが冷めるトキ。

動くタイミング（トキ）。

※立ち位置によって、動く内容・方向性が異なる。動くタイミングは違う。

※まだまだ、気付きはいっぱいありました。・・・が、「で、どうする!？」

4. “つながり”個人的な考え②・・・「コトおこし関係」

【公務員としての立ち位置】：役割は色々あっても良いけど、決まったことはOneVoice

- 様々な情報から、正しい道が開ける情報を組み立てることを意識。
- 柔軟な議論の場（様々な立場の声を代弁）を意識。⇒責任ある方向性の決定へ。（変わった時も）
- 根気強く仲間をつくる。（議論の活性化（固定議論の脱却）⇒理念の統一⇒職員の人材育成）
- ※口出し・・・「なるべく控えて支える」か「責任を担う仲間になる！」※評論家にならない。

【プライベートの過ごし方】：客観性とバランス

- ナマの声を多く聞く機会 ⇒ 農業や地域活動への参加 ⇒ 個々で悩みや考えが違う
- いつでも応えられるように常に考える（趣味）
- 勇気をもって踏み出す人を後押しできるようにしておく（時間を意識）

【いまからの“つながり”を考える】：顔が見えるようにしよう！

- 顔の见えない社会・・・顔が見える人の声が届く一方、「ID」という仮の名前で情報が発信。
- 情報化・・・誰もが情報を発信出来るし、情報は原則「消えない」
- 操作・・・操作しても責任の所在が不透明（人を疑いたくない。）
- 組み立てる・・・堂々と表現する、議論する、責任ある仲間を決める。「覚悟」
※独りよがりにはダメ。いつもの仲間での議論から広げる。

○顔の見える・責任が存在した「つながる」ことの大切さ 情報化社会や効率化社会では「事が見える化」

⇒ 人（顔）が見える化を大切に！意識を！

5. Q・A 個人的にお答えします！！

Q1：雲仙市の子どもたちが地域に残って暮らす希望を、将来にもつことができるような実践が何かありましたら教えてください。

A1：○長崎県 = 原爆 = 平和 ⇒ 小学校・中学校で平和学習を開始

○大型農業基盤整備 ⇒ 地域ブランド（白ネギ、レタス、ブロッコリーなど）

⇒ 儲かる ⇒ 後継者の確保 ⇒ 子どもが増えた

○住んでいるところから世界を見せる工夫（未実施、現在、実現に向け思案中）

○意識するのは「帰ってこさせる」施策と情報発信 ⇒ 支援制度も必要だけど・・・

例）ある自治体に研修に行った際、半日、時間に余裕があったため、その自治体の取り組みについて研修をお願いしたら、入庁3年目の商工担当職員が対応。（財政状況、職員数、経済情勢など話せる。）

Qなぜ地元の公務員に？（就職の決め手は？）

⇒まちの動きが元気に見えたり、人が生き生きしてて“やりがい”を感じた。

Q2：北東は福岡、東は熊本・阿蘇、南は天草、西は長崎市に囲まれた観光地の激戦区。

改めて雲仙の強さと弱さを教えてください。

A2：○雲仙の弱み「人と人のつながり」、雲仙の強み「これからの人」※若者を指すことではありません。

※ポテンシャルは高いが、生かされてない。“つながる”が大切。

○よく「昔は・・・」と聞くけど、戻ることはできないし、無いものは無い。他と比べない。

※いま個人的に「よく、（自分の中で価値を感じられない）コレを魅力的に話せるなー」と感心することが多い。これは、価値と話術と技術だと思う。熱心な「地域ファン」「地域マニア」を作り、また、「地域や自分に誇りある人」が表舞台に立ち、生の声、顔のある発信をすることが重要だと思う。

※今の観光物産課のスタッフは純粋に雲仙の地が好きで、純粋に地域と関わっている素晴らしいメンバーで構成されている。